

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果(H30.6.20)

単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ spp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アサオ	コクロデニウム ホリクイコイデス
1.石田水産前	14:30	0	20.0	-	-	0	5,000	0	0
		1	-	-	-	0	3,300	0	0
		2	-	-	-	0	390	0	0
		5	-	-	-	0	96	0	0

※持込海水の検鏡結果より

参考:マグロ類における赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	1以上	10以上
ヘテロシグマ・アサオ	500以上	5000以上
カレニア・ミキモイ	20以上	200以上
コクロデニウム・ホリクイコイデス	3以上	30以上

- * 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。
- * 魚の生理状態や環境条件等によって、上記警戒密度より低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモイが確認されました。

カレニア・ミキモイは、石田水産前で警戒密度を超え、非常に危険な状態です。また、午後から佐伯湾の広域的に着色が確認されており、本種の増殖が確認されています。(河川周辺では、降雨による濁りあり)

パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し、養殖・畜養中の魚介類に被害を及ぼすことがあります。魚介類の管理にはくれぐれも気をつけてください。

